

私のキャンパスライフ



実際に学ぶ中で自分の考えていなかった視点での話や、働いている人の実体験を聞くことが出来る授業での機会が多くあり、座学の中でもとても濃い時間を過ごせています。授業も先生方の興味

教育福祉学科での学び

私は元々は「きりした目標が持てず、『多くの人の役に立つ仕事に就けたらいいな...』。そのためにはどんな仕事に就けばいいのかが分からず、大学もどこを受験するべきか決められずにいました。そんな時、高校の先生に『東京家政大学教育福祉学科でなら教育、福祉、心理の3分野を総合的に学ぶことができ、あなたのやりたいこと、得意分野を伸ばすことができるのでは』と聞いていただきました。実際に大学を訪れてみると素敵な雰囲気、先輩方、広い校舎に綺麗な施設。こんな学校に通えたらいいなと強く思いました。受験期は辛いことも沢山ありましたが乗り越え、合格できた時はとても嬉しかったです。入学後しばらくは大学に慣れるのに必死でしたが、色々な地方から来た仲間たちと共に様々な目標に向かって学ぶことが出来る家政大に入学できて良かったと思っています。

東京家政大学との出会い

人文学部教育福祉学科2年
H.I.

深く面白い話を聞くことができ、毎授業とても楽しく受講できています。

学の中で教育分野の中で『社会教育』という、子どもから大人になっても学びを続けられる環境を作りたいと思うようになりました。大まかな目標の時に教育関係の仕事に就くことを考えていた時がありました。しかしその時は教育といった先生になる印象が強く、『先生の仕事をしたいわけではない...』と諦めていました。大学で学びを深めていく中で子どもの時だけでなく、大人になっても学びたいことを学べる環境を作っていく仕事があることを知り、私の目標はこれなのではと思うようになりまし。また福祉や心理も学が中で地域での高齢者との関わりを作っていく必要性を考えました。これらの学びを活かした仕事に就くことが今の目標です。

東京家政大学で学んでよかったこと

一番は、先生との距離が近いところ。日常的な会話にも温かさがあり、親身に話を聞いてくださるので些細なことでも話してみようと思えます。また学生同士の繋がりもとても深く、クラス制であるためみんな仲良くなりやすいです。クラス会を開催してより仲が深まる活動ができるのも魅力です。

改めて、家政大に入学し学ぶことができて良かったと思っています。深めていきたい学びを見つけることができ、自分の目標が定まったからです。私は現在2年生なので残りの大学生活の中で様々なことにチャレンジし、より力をつけていけるよう頑張りたいと思っています。学生時代にしかできないことに挑戦したいと思っています。



忙しい中でさらにアルバイトやサークルの活動をしていた人毛いるので「睡眠時間が無くなるほど忙しくなる」とまでの心配

教育福祉学科での学び

私は東京家政大学に入学した大きな理由は管理栄養士の国家試験合格率高さ、そして留学制度が充実していたことでした。国家試験の合格率については皆様ご存じかと思いますが、大学で生活していてもあまり知られていないのかな...と思うのが充実した外国語学習のサポートです。ただ留学の制度があるだけではなく、東京家政大学にはグローバル教育センターという外国語学習をサポートしてくださっている専門の部署があります。ここでは英語学習や留学についての情報が得られることはもちろん、GTECやTOEFLの受験サポートからオンラインまたは対面での英会話教室まで幅広く開催されています。海外から東京家政大学へ留学しにきている学生さんとの交流も開催されており、参加したときは自分が知らない文化や食べ物を知る貴重な体験をさせていただきました。

東京家政大学管理栄養学科を選んだ理由

栄養学部管理栄養学科
S.K.

栄養学科での学びは、今後どのように活かしていきたいですか？

栄養学科では講義や実験、実習を通して食に関して幅広く学びました。食を扱う上で必要となる基本的な知識や考え方を身につけることができたと思います。

研究活動が印象に残っています。幼い頃から香りに興味があったため香りの研究ができる食品衛生学研究室を選び、『ウコンの香気成分に関する化学的研究』というテーマで卒業研究に取り組んでいます。

大学生活の中で印象に残っている出来事は何ですか？
また、それは就職活動にどのように影響しましたか？

入社後は当面、国内向けの商品、特にカレーやパスタソースの開発をしたいと考えています。国内向け商品の開発で経験を積み、いずれは海外向けの商品開発に携わり、日本の味を世界に広めたいと思っています。

就職内定！ アスビー食品株式会社 商品開発職

家政学部栄養学科
栄養学専攻
Y.K.さん



就職先企業として、アスビー食品株式会社を選んだ理由を教えてください。

アスビー食品株式会社は「食」と「香り」に関わることができる会社であるからです。私は以前より「食」と「香り」に興味がありこの2つに関わる仕事をしたいと考えていました。そのどちらにも関係するスパイス・ハーブを主力とする事業内容に魅力を感じ、アスビー食品を選びました。栄養学科で食と健康について学んできたため、嗜好品よりも食卓に直結するような商品を開発したいという想いがありました。この想いを叶えられと感じたことも理由の一つです。

開発職の業務内容として、ただ味を作るだけではなく原料の選定やパッケージなど幅広商品開発に関わることができる点にも魅力



元々研究開発職に興味があり、就職活動で研究に関するエピソードを話したいという理由から、研究室に配属されてすぐに研究活動を開始しました。そのため就職活動が本格化して忙しくなる前までに、ある程度の研究を進めることができました。面接では研究テーマを選んだきっかけや研究内容を聞かれることが多かったため、早いうちから研究を進めて良かったと思います。

この研究活動が印象に残っています。幼い頃から香りに興味があったため香りの研究ができる食品衛生学研究室を選び、『ウコンの香気成分に関する化学的研究』というテーマで卒業研究に取り組んでいます。

これから就職活動に向けて動き出す後輩たちへアドバイスをお願いします。

興味を持ったらず迷わず挑戦してください。私は大学や資格の勉強が忙しいからと新しいことを始めるのを躊躇してしまい、少し後悔しています。

就職活動を意識していると大学時代の経験は就職活動でアピールするために必要だと思いがちですが、実は自己分析にも繋がります。様々な経験を通して自分に何が向いているか、どのような環境が合っているかを知ることができると、様々なことに挑戦し経験を積んでください。

また、就職活動では不安が大きいと思いますが妥協せずに挑戦して欲しいです。難易度の高い企業で先輩の採用実績がなくても「どうせ受からない」と諦めるのではなく、本当に入りたいと思ったらず応募してみてください。

東京家政大学には進路アドバイザー面談や集団面接の実践講座など、就職活動のサポートが多くあります。面接の練習を重ねたりエントリーシートを添削していただいたり、とても参考になりました。悩んでいることがあれば積極的に活用してみてください。

はいらないと思いますが、それでもある程度の覚悟は必要かと思っています。

伝えたい！家政大の良さ

私はよくオープンキャンパスで管理栄養学科の良さは学生みんなが優しくて温かいことだと紹介していますが、課題に追われる毎日の中で、「優しいさ」「温かさ」をたくさん感じました。例えば課題でわからないことがあつて聞いたとき、テストが重なっている時期にも関わらず「今勉強中だからあとで」ではなく「ちょっと同じ部分を勉強していたから私も質問したい！」とか「いい振り返りになった」と言ってくれたり、レポートが終わりそうにないときは「これ写しちゃうよ」と自分のレポートを見せるのではなく「この論文のウェブサイトを分かりやすいよ」と答えではなくヒントをくれたりと相手の立場に立つて物事を考えて、そのうえで相手のためになる行動を自然としてくれる人がとても多いです。課題に追われていたからこそ出た、管理栄養学科の「優しいさ」「温かさ」の大きな要素でないかと思っています。

もう一つ、オープンキャンパスでよく質問をいただいていたのが「ぶっちゃけ女子大ってどうなの...？」というところ。先述のとおり、管理栄養学科にはもちろん、サークル活動で接する他学部の人たちも優しい人・温かい人が多いので心配が無用！きっと楽しいキャンパスライフが待っているはず。

他にも東京家政大学の好きなところはたくさんありますが、ちょっとここでは収まりそうにないのでまたオープンキャンパス等で会いたときにお話しさせてください。そして皆さんと同じ大学の学生として切磋琢磨しながら、またお互いの良さを見つめながら勉強できることを楽しみにしています。がんばれ受験生！